

自動車保険の保険料見直しに関するご案内



TOKIOMARINE
NICHIDO

2027年1月1日
以降始期用

東京海上日動（以下、弊社）では、2026年10月に自動車保険の保険料見直しを実施いたしました。お客様の保険料負担軽減に向け、これまでも企業努力を重ねてまいりましたが、昨今の経済環境や社会動向を受け、お車の修理費をはじめとする自動車保険関連コストは、一般的な物価上昇率を大きく上回って上昇しています。

こうした環境下でも安定的に自動車保険をご提供し続けるため、今般の保険料見直しに至った背景等についてご説明いたします。何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

なお、必要に応じてお客様のニーズに即した保険料節減プランもご案内させていただきます。

ご不明な点等がある場合は、代理店または弊社までお問い合わせください。

1. 保険料の見直しについて

- 昨今の物価上昇（インフレ）等の経済環境や社会動向を受け、平均的な保険料水準を約6.5%引き上げます。
- ご契約条件ごとに、保険金のお支払い状況等に応じた保険料見直し幅は異なるため、実際にお客様にご負担いただく保険料は引上げとなる場合と引下げとなる場合があります。

【背景】

保険金のお支払い状況について、①1件あたりの支払額（以下、保険金単価）と、②事故の発生状況（以下、事故頻度）に分けて、それぞれご説明いたします。

① 保険金単価について（図1）

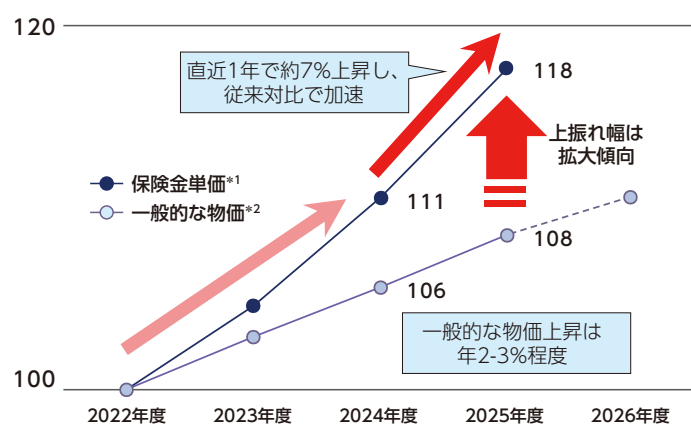
- ・ 保険金単価は、車両の高性能化等によって従来から上昇トレンドにありました。
- ・ 近年はこうした上昇トレンドの継続に加えて、インフレによる修理費の高騰や社会全体での賃金上昇等が重なったことで、保険金単価は大きく上昇しています。
- ・ 下図の通り、保険金単価の上昇率は一般的な物価上昇率を大きく上回り、その差も拡大傾向にあります。

② 事故頻度について（図2）

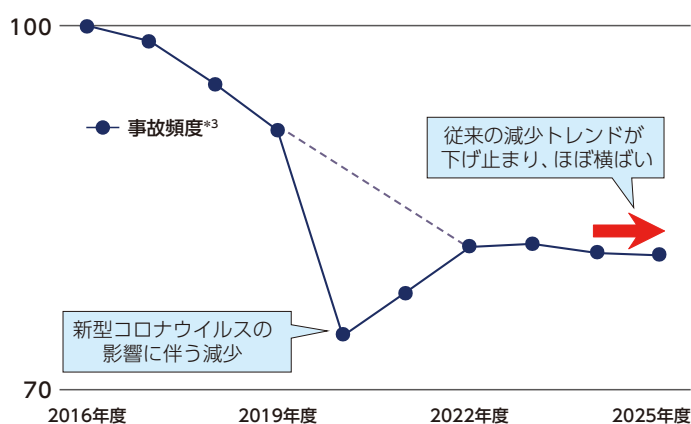
- ・ 事故頻度は、衝突被害軽減ブレーキをはじめとした安全運転装置の普及等により、従来は減少傾向にありました。
- ・ しかしながら、近年ではこの減少傾向が鈍化して、2025年度には下げ止まり、ほぼ横ばいとなりました。

お客様の保険料負担軽減に向け、弊社としても引き続き、企業努力としての事業費抑制や事故防止・事故削減に向けた取り組み、不正な保険金請求対策等を従来以上に強化して進めてまいります。

（図1）保険金単価の状況



（図2）事故頻度の状況



*1 2022年度を100とした保険金単価（車両保険・対物賠償責任保険）

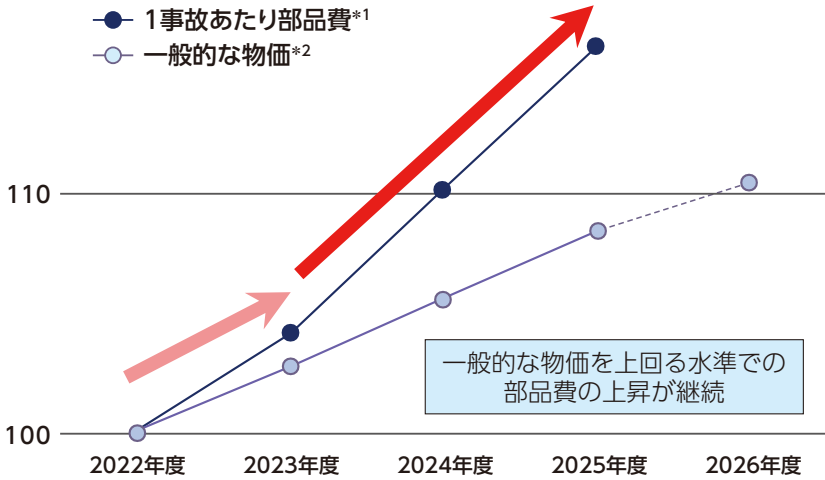
*2 2022年度を100とした消費者物価指数（生鮮食品を除く、コアCPI）。2026年度は日本銀行「経済・物価情勢の展望」見通し（2026年1月）に基づく。

*3 2016年度を100とした事故頻度

2. 昨今の修理費動向について

- ・自動車保険でお支払いする保険金の多くはお車の修理費で、修理費は主に部品費と修理工賃で構成されています。
- ・昨今のインフレ影響等によって部品費・修理工賃はいずれも増加傾向にあり、保険金単価上昇の要因となっています。

部品費の推移



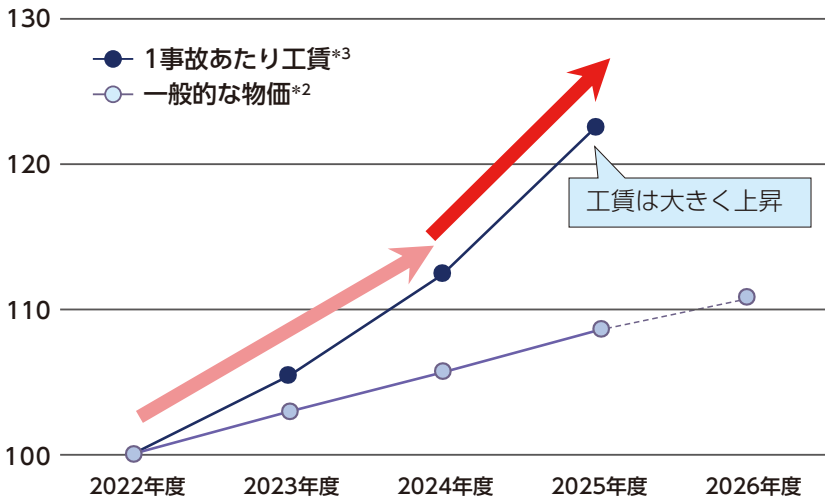
- ・従来からの車両の高性能化やモジュール化による影響や、昨今のインフレに伴う原材料費等の高騰によって、お車の修理における部品費は一般的な物価上昇率を上回る上昇を続けています。

※車両のモジュール化とは

- ・自動車部品のエンジンやブレーキなどを一つの「まとまり(モジュール)」として組み立てること。
- ・モジュール化の普及に伴い、一部の部品交換ができず、他の部品も含めた部品全体を交換するケースが増えてきており、修理費への影響が生じています。

*1 2022年度を100とした1事故(車両保険・対物賠償責任保険)あたりの部品費
 *2 2022年度を100とした消費者物価指数(生鮮食品を除く、コアCPI)

修理工賃の推移



- ・昨今のインフレや労働市場の逼迫(労働者不足)等を背景とし、賃金上昇・労務費の価格転嫁が社会全体で進んでいます。
- ・こうした社会動向を受けて、修理工賃は上昇傾向にあり、特に2025年度は大きく上昇しています。

*3 2022年度を100とした1事故(車両保険・対物賠償責任保険)あたりの工賃

ご参考 インフレや賃金上昇等が保険金に与える影響

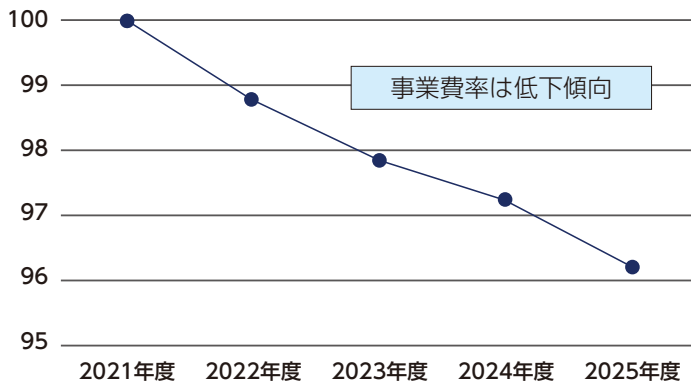
保険金の構成割合		インフレ等による保険金への影響
対人賠償責任保険 人身傷害保険		
車両保険 対物賠償責任保険	自動車修理費 約60%	●インフレ・賃金上昇に伴う部品費・工賃の増加 ●車両の高性能化による修理費の高額化 ●インフレに伴う増加 ●車両の高性能化などを背景とした修理期間の長期化による代車費用の増加
	自動車修理費以外*4 約40%	

*4 対物賠償責任保険におけるガードレールや建物などへの補償、車両保険における代車費用等

3. 事業費削減に向けた取組み

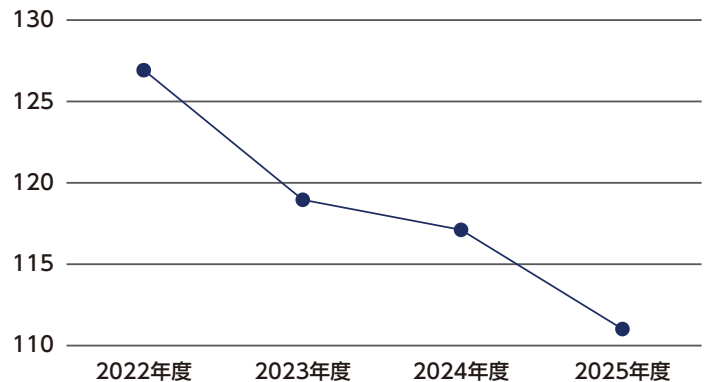
- ・弊社では、不断のビジネスモデル変革を通じた業務効率化や全国各地にある営業拠点の統廃合、AI・デジタルの活用、社内外事務のペーパーレス化の推進等を通じ、徹底した効率化を進めております。こうした企業努力を通じて、事業費率は低下傾向にあります。

事業費率^{*5}の推移



*5 2021年度を100とした事業費率

営業部・支店数の推移



4. 不正な保険金請求等への取組み

- ・損害査定においては、データを活用した異常値分析等を通じて不正な保険金請求防止や疑義の早期検知・対策に繋げるなど、過去の不正な保険金請求事案も踏まえた不正対策の強化に取り組んでいます。
- ・併せて、「安心して修理を任せることができる工場選び」を支援する仕組みであるリペアネットを推進しています。

お客様による着工前写真撮影推奨	・お客様に対し、修理前のお車の写真撮影を推奨しています。写真のご提供を通じ、修理作業や請求内容に関する透明性の確保に取り組んでいます。
自動車修理時の確認ポイントの情報提供	・お客様に対し、自動車修理時の確認ポイントを解説した動画をご案内することを通じ、お客様がトラブルに巻き込まれるリスクの低減に取り組んでいます。
データを活用した異常値分析	・修理工場単位での修理費データにおける異常値検出等を通じ、修理工場の課題の早期把握や疑義の早期検知に取り組んでいます。
不正請求対策の専門チーム設置	・不正請求対策の専門チームを設置して不正請求に関する情報発信や研修等を実施し、全国の査定人(アジャスター)の不正検知力を高めています。

お車の写真はスマホから簡単に送信!



リペアネット(修理工場マッチングサービス)

- ・お客様がWEB上で、修理工場の設備・サービスに関する情報を比較・検討することができます。
- ・ご希望の修理工場が見つかった場合には、その後の予約手続きをサポートします。
- ・修理費金額の算出根拠の明確化や作業工程の可視化によって、お客様の大切なお車の修理に対する納得感・安心感を得られるようご支援します。



5. 特約保険料の見直し等

(1) 車両搬送・応急対応・レンタカー費用等補償特約

- ・保険金のお支払い状況を踏まえ、車両搬送・応急対応・レンタカー費用等補償特約の保険料を引き上げます。
- ・レンタカー補償部分の保険料については、1日あたりのお支払い上限額（以下、日額）別の保険金のお支払い状況を踏まえ、日額5,000円のタイプでは引上げ幅を抑えています。

	用途・車種	改定後特約保険料例 ^{*1}	改定による特約保険料変動幅 ^{*1}
レンタカー補償日額 7,000円 ^{*2}	自家用普通・小型乗用車	21,940円	+4,430円
	自家用軽四輪乗用車	21,670円	+4,390円
レンタカー補償日額 5,000円 ^{*3}	自家用普通・小型乗用車	15,740円	+2,230円
	自家用軽四輪乗用車	15,470円	+2,190円
車両搬送・応急対応費用 のみ ^{*4}	自家用普通・小型乗用車	4,280円	+770円
	自家用軽四輪乗用車	4,010円	+730円

*1 初度登録（初度検査）年月からの経過年数が5年以内の場合

*2 車両搬送・応急対応・レンタカー費用等補償特約+レンタカー費用の補償日額に関する特約（レンタカー補償日額：7,000円）

*3 車両搬送・応急対応・レンタカー費用等補償特約

*4 車両搬送・応急対応・レンタカー費用等補償特約+レンタカー費用不担保特約

(2) 弁護士費用特約（自動車事故型）

- ・保険金のお支払い状況を踏まえ、保険料を引き上げます。

	改定後特約保険料例	改定による特約保険料変動幅
弁護士費用特約（自動車事故型）	3,500円	+200円

ペットネーム・略称について

ペットネーム・略称	正式名称	ペットネーム・略称	正式名称
トータルアシスト自動車保険	総合自動車保険	車両搬送・応急対応・レンタカー費用等補償特約	車両搬送・緊急時応急対応・レンタカー費用等補償特約
ドライバー保険	自動車運転者保険	弁護士費用特約（自動車事故型）	弁護士費用等補償特約（自動車）
TAP	一般自動車保険		

※このチラシのご案内は、トータルアシスト自動車保険、TAP、ドライバー保険のご契約を対象としております。

※このチラシは、「保険料見直し」の概要を記載したものです。適用できる割引や特約等には一定の条件があります。なお、ご契約にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。また、詳しくは「ご契約のしおり（約款）」をご用意しておりますので、必要に応じて弊社のホームページでご参照いただくか、代理店または弊社にご請求ください。ご不明な点等がある場合は、代理店または弊社までお問い合わせください。

※このチラシに記載されている保険料例は、特に記載がない限り、商品名：トータルアシスト自動車保険、保険期間：1年、払込方法：一時払、ゴールド免許、日常・レジャー使用、年齢条件：35歳以上補償、記名被保険者年齢：40歳、20等級（事故有係数適用期間0年）、料率クラス：車両7-対人7-対物7-傷害7（自家用普通・小型乗用車）、車両4-対人4-対物4-傷害4（自家用軽四輪乗用車）の場合の年間保険料です。契約条件により、実際の保険料と異なる場合があります。

※ご契約に関する個人情報、東京海上日動プライバシーポリシーに基づき取り扱います。詳しくは、弊社のホームページをご参照ください。

事故・故障のご連絡・ご相談は

事故受付センター（東京海上日動安心110番）

0120-119-110

ロードアシスト（東京海上アシスタンス）

0120-560-057

受付時間：24時間365日 ネットでのご連絡はこちら ▶



保険に関するお問い合わせは

東京海上日動ホームページ

保険に関するお問い合わせや
契約変更手続きのご案内はこちら ▶

www.tokiomarine-nichido.co.jp/support/



お問い合わせ先

東京海上日動火災保険株式会社

www.tokiomarine-nichido.co.jp

E26-89080(9)改定202606
0193-GJ02-12056-202605